

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
18・8・19(土)
南NEWS no 41

飯舘村訪問

7月23日(月)・24日(火)福島飯舘村を訪問してきました。皆様から寄せいただいた義援金231,000円を飯舘村教育委員会係長佐藤様にお渡ししてきました。菅野村長より御礼の手紙と領収書が既に届いております。

小学生の「沖縄までいなの旅」中学生の北ヨーロッパ訪問「未来の翼」等に使用されるそうです。

教育委員会の遠藤様がお礼を伺い、その後、小中一貫校の校舎を案内していただきました。木をふんだんに使った素敵な校舎でした。



遠藤さんのお話を伺う

広い廊下には子ども達の作品やプロの彫刻家の木彫り作品が展示されています。優しいしぐさ・表情に魅了され、こんな作品なら作ってみたいなと思いました。



校舎の中にある学童「つくしんぼハウス」を訪れると、2人の男の子が八王子のアンパンマンを覚えていてくれました。剣玉名人とカメラに収まる左の子は「もしカメが50回できたよ」右の子は「止め剣ができたよ」と報告してくれました。剣玉名人とともに喜びました。



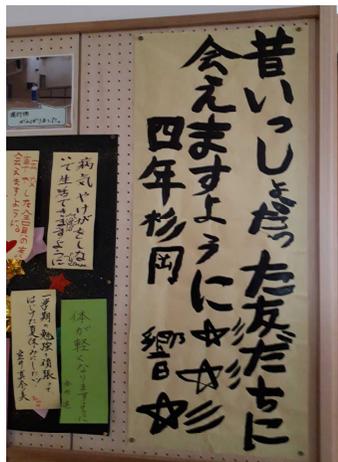
4年生が七夕の願いに「昔いっしょだった友だちに会えますように」と書いていました。

新しい校舎で学んでいるのは小学生が33人、中学生が42人。校舎手前に園舎がある認定こども園には29名で計104名が通っているそうです。

昨年の夏ごろの説明会では、50名ほどの見込みでしたが倍の104名が在籍ということになったのです。子ども達は福島市を中心に飯野町や川俣町の避難先からスクールバスで通っているそうです。

大人達も入れて700名。帰村率は1割とのことですが。農業を完全に再開している人は少ないのですが昨年より増えているそうです。

250万袋(3月の毎日新聞による)あった汚染度



を入れたフレコンバックはかなり減って、その場所には太陽光発電のパネルが設置され、ビニールハウスも増えていました。



減ったフレコンバックの山



太陽光パネルが増えていました。



でも飯舘村のメインストリートはどこもシャッターが下り、郵便局もスーパーも閉まっていたのです。鉄骨は錆びついていました。

翌日は予定を変更して南相馬港へ向かい、海鮮丼の専門店でお昼を摂った後、南相馬市小高にある柳美里さんが18年4月に開いたブックカフェ・フルハウスに行きました。柳さんはいらしたのですが、フルハウスでイベント中ということでお会いすることはできませんでした。

普通の家の一間を書店にした造りで、通りに面した窓側には長机といすが置いてあり、ゆっくり本が読めるようになっています。柳さんがこだわって集めた本がテーマ別に、作家別に並んでいました。柳さんの若いパートナーの男性が店番をしていました。3冊の著書を購入して帰途につきました。南相馬市もフレコンバックがいっぱいでした。



森の向こうに第一原発

帰る前にカフェの人から「6号線を南進したら、東電の第一原発を観ながら帰ることができますよ。常磐道に入って筑波から久喜に向かえば帰れますよ」とアドバイスをもらいました。途中、お店に船が突っ込んだままになっているところを観ました。津波の凄さが伝わってきました。至る所にここまで津波が上がってきたという表示がありました。



6号線から第一原発に至るゲート



飯舘村の子供達もエネルギーについて習っています。東京・日本でも子ども達も学びます。

